

第20回 名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）対策協議会総会 議事録

日 時：平成29年11月6日（月）午後3時～3時30分

場 所：蒲郡市役所303会議室

出席者：（構 成 員）西尾市 長島副市長

蒲郡市 井澤副市長

愛知県振興部交通対策課長 柴山課長

（オブザーバー）国土交通省中部運輸局鉄道部監理課 鈴木課長

名古屋鉄道株式会社鉄道事業本部計画部 加藤部長

[発言要旨]

1 開会

（会長：西尾市）

本日の総会は、平成28年度名鉄西尾・蒲郡線の概況についての報告と、にしがま線げんき戦略についての概要と現状の報告がある。

2 報告事項

平成28年度名鉄西尾・蒲郡線の概況について

（名古屋鉄道）

資料1に基づいて報告

3 その他

にしがま線げんき戦略について

（事務局：西尾市地域振興部地域支援協働課）

資料2に基づいて概要と現状の報告

4 意見交換

(蒲郡市)

29年度、全庁を挙げて名鉄西尾・蒲郡線の振興に取り組み、ボートレース事業部の場内利用券配布サービスをはじめ、名鉄蒲郡駅などでの駅前コンサート、三河鳥羽駅から蒲郡駅までのウォーキングイベントなどを実施している。今後は経常的に同線を利用してもらう施策についても検討していきたい。

(愛知県交通対策課長)

29年度、「エコ モビリティ ライフ 県民の集い」において、蒲郡市の市民まると赤い電車応援団の表彰を行う。名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会において、沿線の外から誘客を行う誘客推進事業が進められており、県も一定の支援をしている。この取り組みが同線のさらなる利用者増加につながることを期待している。

(中部運輸局)

28年度、西尾市・蒲郡市ともに地域交通網形成計画を策定された。バスやタクシーを含めた交通ネットワークの整備を進め、鉄道の利用増にもつなげていただきたい。運輸局としては、全国の地域鉄道の活性化策や利用促進策についての情報提供や、名鉄西尾・蒲郡線の取り組みについての情報発信に協力していきたい。

(名古屋鉄道株式会社)

28年度の全線の輸送人員は、訪日外国人の増加や、沿線の雇用情勢を背景にして増加傾向となり、さまざまな利用促進の取り組みもあり、西尾～蒲郡間も増加している。28年度は蒲郡線の全線開通80周年にともなって、沿線ハイキングを2度設定し、イラスト系統板を掲出した電車も運行した。29年度も5月と10月に沿線ハイキングを開催したほか、西尾キャンペーンの内容の見直しや、西浦温泉や蒲郡温泉を含めた旅行商品の発売も行っている。当線区の経常収支は、依然として厳しい状況だが、安全輸送を最優先に効率的な路線運営と利用促進に努めていきたい。

(西尾市副市長)

29年度の市長と語る市政懇談会において、名鉄西尾・蒲郡線を存続させる意味を市民から問われたが、高校生の貴重な唯一の足となっている公共交通機関は何とでもなくさないと市側の答弁を行った。そのためには利用者増が必須の条件であり、今後ともご協力をお願いしたい。

(以上)